



日本老年看護学会 メールマガジン 第 37 号 2015/10/21

「日本老年看護学会災害支援検討委員会」からの災害支援情報配信 (3)



- 2015年9月10日(水)～11日(木)に発生した関東・東北水害について、新たな活動報告と災害支援情報を提供します。
- 災害支援情報：常総市の避難所は現在2カ所(あすなろの里、石下総合体育館)に集約されつつあり、そこには福祉避難スペースが作られて、新たな活動の時期に入っています。そこでは避難者(災害時要支援者・高齢者含む)への継続的支援が求められており、それに携わる看護師の派遣要請がありました。
- 今後も情報が入り次第、皆様に流していく予定です。

.-----.
 常総市の避難所支援に関わる看護師の派遣要請について (2015/10/18 時点)
 .-----.

常総市では、社会福祉課・高齢福祉課とNPO法人さくらネット、専門職職能団体が協力して、避難所支援を行っています。

現在、福祉避難スペースを含む避難所2カ所において、専門職による継続的支援が行われています。これまで災害時要支援者(以下、要支援者)のうち中等度・重度の要介護者は、介護保険施設に緊急ショートステイとして入所されています。避難所に残っているのは、軽度の介護が必要な要支援者(認知症の方含む)とその他ですが、特に高齢者の割合が高く、今後災害関連疾患や認知症悪化の予防、生活機能低下防止の取り組みが必要となっています。そこで市からの要望を受けて、NPO法人さくらネットより、避難所での支援に関わる看護師の派遣依頼がありましたので、お知らせいたします。

(1) 常総市の避難所の状況

- 10月18日(日)に、避難所(福祉避難スペース含む)における保健福祉専門職による支援体制作りの場に、災害支援検討委員会の松岡が、石井代表(さくらネット)の協力を得て、参加してきました。常総市の住宅被害は、全壊50件、大規模半壊914件、半壊2,773件、避難所の避難者は316人(茨城県：平成27年9月関東・東北豪雨による本県の被害及び対応について、10月18日16時00分現在。

<http://www.pref.ibaraki.jp/1saigai/201509/siryoku1018.html>

で現在もボランティアによる泥出しや家屋の掃除等の支援が行われています(10/18の状況：400人体制で80世帯の支援活動実施)。

- 避難所：現在2カ所に集約されつつあり、その中で被災から1ヶ月が経っても自宅再建等の目処が立たず、避難所での生活が余儀なくされている被災者は、あすなろの里が約200名、石下総合体育館が約80名です。避難者の状況：中等度・重度の介護が必要だった方はすでに介護保険施設に入所(緊急ショートステイの長期利用)されており、現在避難所に残っている要支援者は、介護度は軽度(認知症の方含む)で見守りが必要、経済的な課題があり、生活再建の目処が立たない方(多くは高齢者)でした。
- 今後の支援：災害関連疾患、生活機能低下(生活不活発病)、認知症進行の予防をしつつ、寒さが増す環境の中で全般的な健康管理をしながら、生活再建に向けての中・長期的看護支援が必要と思われました。避難所支援には、市の保健師に加えて、茨城県ソーシャルワーカー協会から派遣された社会福祉職、茨城県老人福祉施設協議会から派遣された介護福祉職、避難所一般ボランティアが携わっています。

(2) 常総市の避難所支援に携わる看護師の派遣依頼について

- 上記のような状況を受けて、さくらネット代表の石井氏から、避難所支援に携わる看護師の派遣依頼がありました。以下は、石井氏からの依頼内容です。派遣依頼に応えられる会員がおられましたら、直接、石井代表に連絡を取っていただき、日程調整等をしてもらえればと思います。

●NPO 法人さくらネット代表 石井布紀子氏より●

常総市の被災者支援に関わっております石井布紀子と申します。

この度は、避難所支援に関する看護師の派遣システムづくりにおいて、ご協力やご連絡をいただき、心から御礼申し上げます。

私は、阪神淡路大震災の際に被災し、以来、被災者支援や災害ボランティア活動に取り組んでおります。今回は、以下のような支援体制づくりを進めたく、ご協力を頂きますよう、お願い申し上げます。

1. 活動現場

- (1) 常総市内(合併前の水海道(みつかいどう)市エリア)：あすなろの里
- (2) 常総市内(合併前の石下(いしげ)町エリア)：石下総合体育館

2. 看護師の活動概要

- ・活動内容：健康チェック、生活機能低下防止サポート、不安の除去や声かけ、緊急時の対応

※介護度は軽度者が多くなっています。とはいえ、認知症の進行や生活力低下が見受けられ、そもそも、貧困者層が大半であり、コミュニケーション力や情報処理力は弱い方が避難所に残っておられると予測されます。寒い避難所での予防的対応や不安の除去が求められています。なお、公営住宅への移転や住宅再建制度施行のメドは明らかではなく、11月末や年内の避難所支援の継続が見込まれます。

3. 看護師の派遣時間等

(当面の間、11月10日ごろに先の見通しを得て改善の必要性あり)

[市の要望を受けて、さくらネットとして実現したい支援内容]

(1) あすなろの里

■8時半～17時半(11月以降随時)

※10月末まではHuMA(災害人道医療支援会)からの派遣があるため

■17時～9時半(できるだけ早期に週3日以上を導入を摸索)

※8時半～9時半に避難所支援関係者会議あり。保健師・ソーシャルワーカーの常駐時間は17時半まで

(2)石下総合体育館

■17時半～9時(できるだけ早期に週3日以上を導入を摸索)

※市保健師は毎日巡回のみ、ソーシャルワーカーの常駐時間は8時半から18時まで

[派遣条件等]

- (1) 移動費：当方の規定を優先させていただきます。ホテルをご利用頂いた場合の宿泊費、現地内の移動経費(レンタカーあるいはタクシー代)を当方で負担させていただきます。
- (2) 日 当：上限1万円を当方で負担させていただきます。
- (3) 保 険：保険加入を当方で行なわせて頂きます(内容は追ってお送りします)。

[石井代表連絡先]

石井布紀子(NPO 法人さくらネット代表理事、一般社団法人子どものエンパワメント
いわて理事)

E-Mail : fukiko.ishii@npo-sakura.net

公用携帯 : 080(3824)8688 collabo-f.ishii@docomo.ne.jp

〒663-8201 兵庫県西宮市田代町16-8 パルティーレN棟西号室

Tel:0798(64)5829&Fax:0798(65)5254

URL : <http://npo-sakura.net/>

.-----.
大規模支援災害時の高齢者支援ガイドのホームページ掲載について
.-----.

- 災害支援検討委員会で作成していたガイドを、学会 HP (<http://www.rounenkango.com>) に掲載しています。
- 超急性期から静穏期、さらに準備期に必要な支援について、一覧できるものです。ご活用いただければ幸いです。
- ご意見等がある場合は、会員専用サイトの「ご意見」より災害支援委員会宛てにお送りください。

+.....+
< 発 行 >

日本老年看護学会 総務広報
担当：北川 公子（共立女子大学看護学部）

+.....+

※このメールは 2015 年 10 月 21 日現在のご登録情報をもとにお送りしております。
配信先の変更や停止については、下記事務センターまでご連絡ください。

※このメールの発信元アドレスは、送信専用アドレスです。本メールへの返信はできません。お問い合わせは、下記学会事務センターのアドレスにお送りください。

+.....+

<発信元>

日本老年看護学会事務センター
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 株式会社ワールドプランニング内
Tel:03-5206-7431 Fax:03-5206-7757 E-mail:rounenkango@nqfm.ftbb.net

+.....+